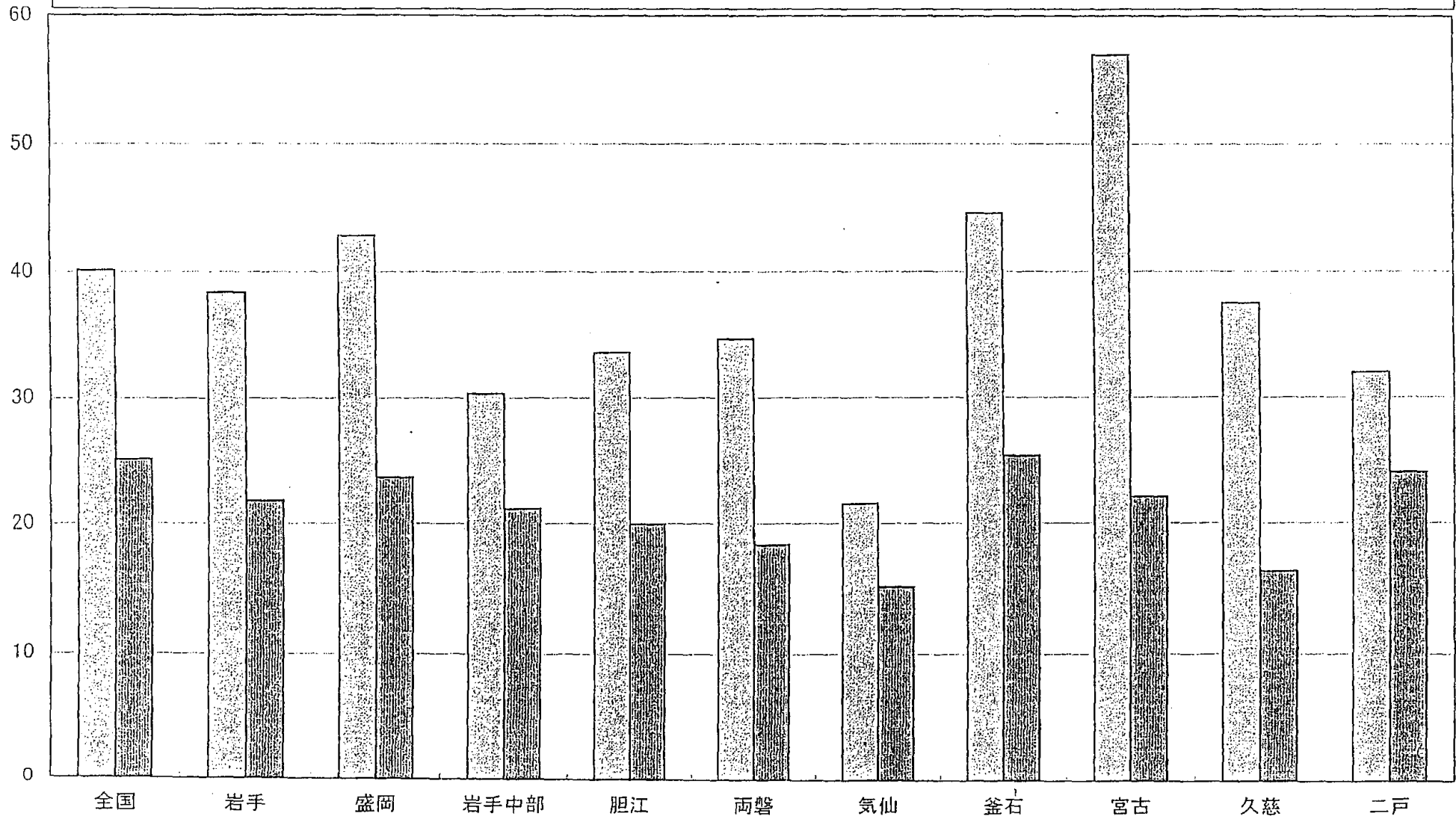


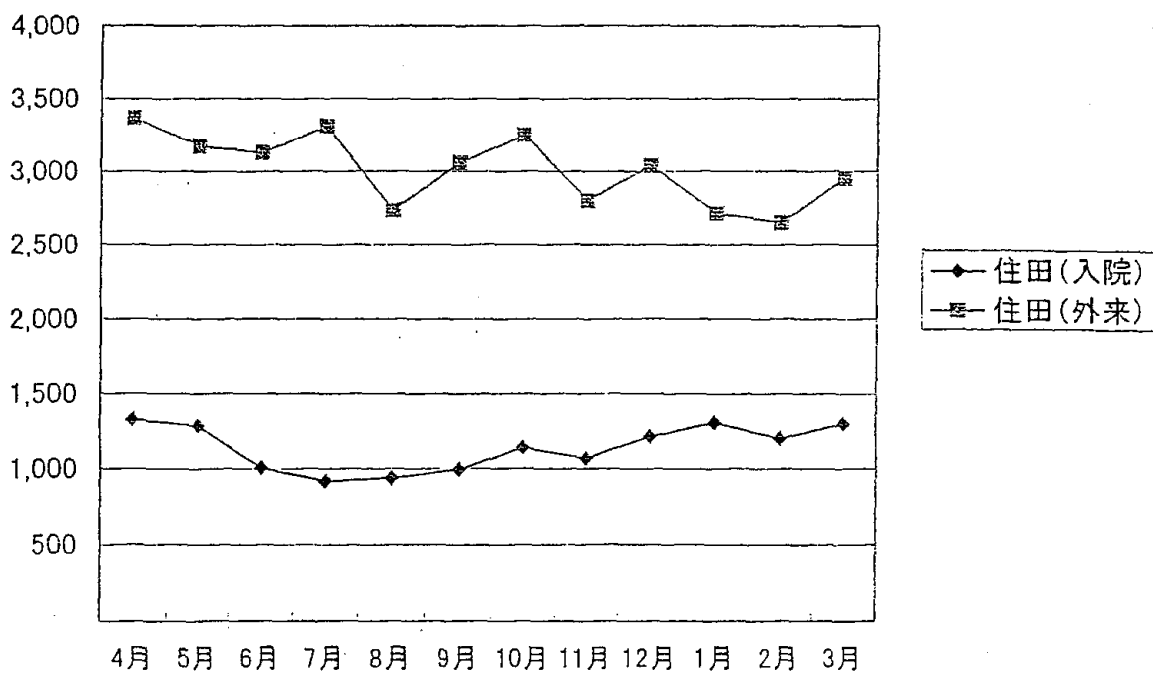
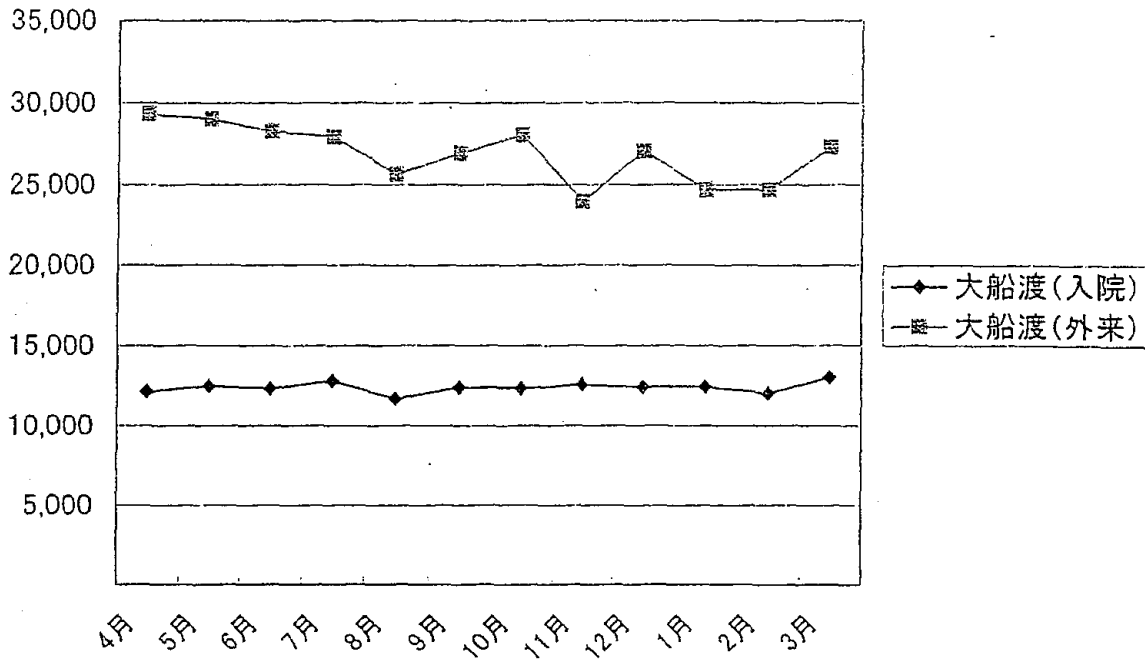
○ 病院の退院患者平均在院日数（平成14年 患者調査）
 →県全体では全国平均とほぼ同水準だが、医療圏毎にばらつきがある



□ 平均在院日数
 ▨ 平均在院日数(精神系疾患を除く)

○ 月別延患者数

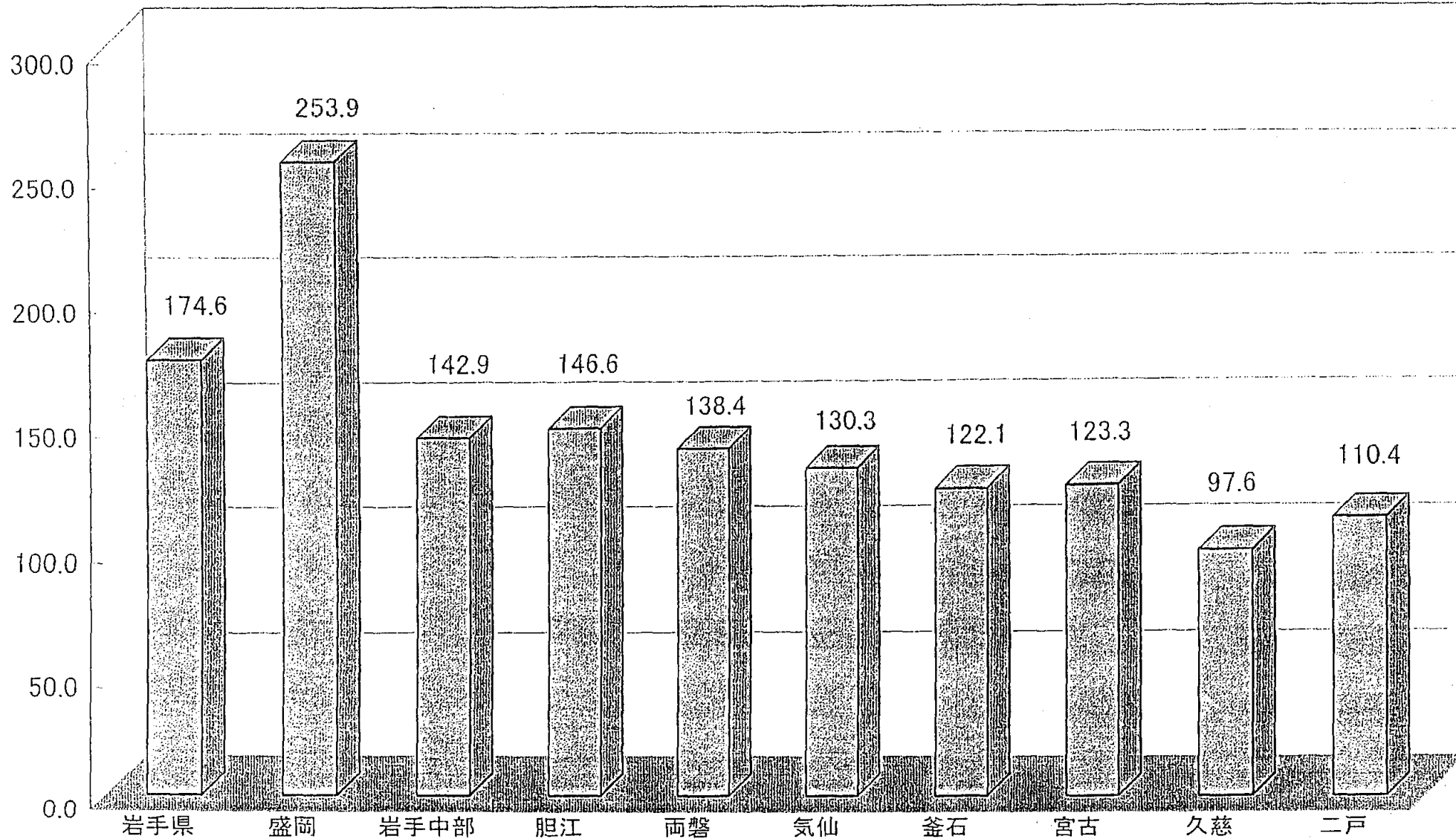
→ 小規模病院における冬期間の入院患者数の増が大きい



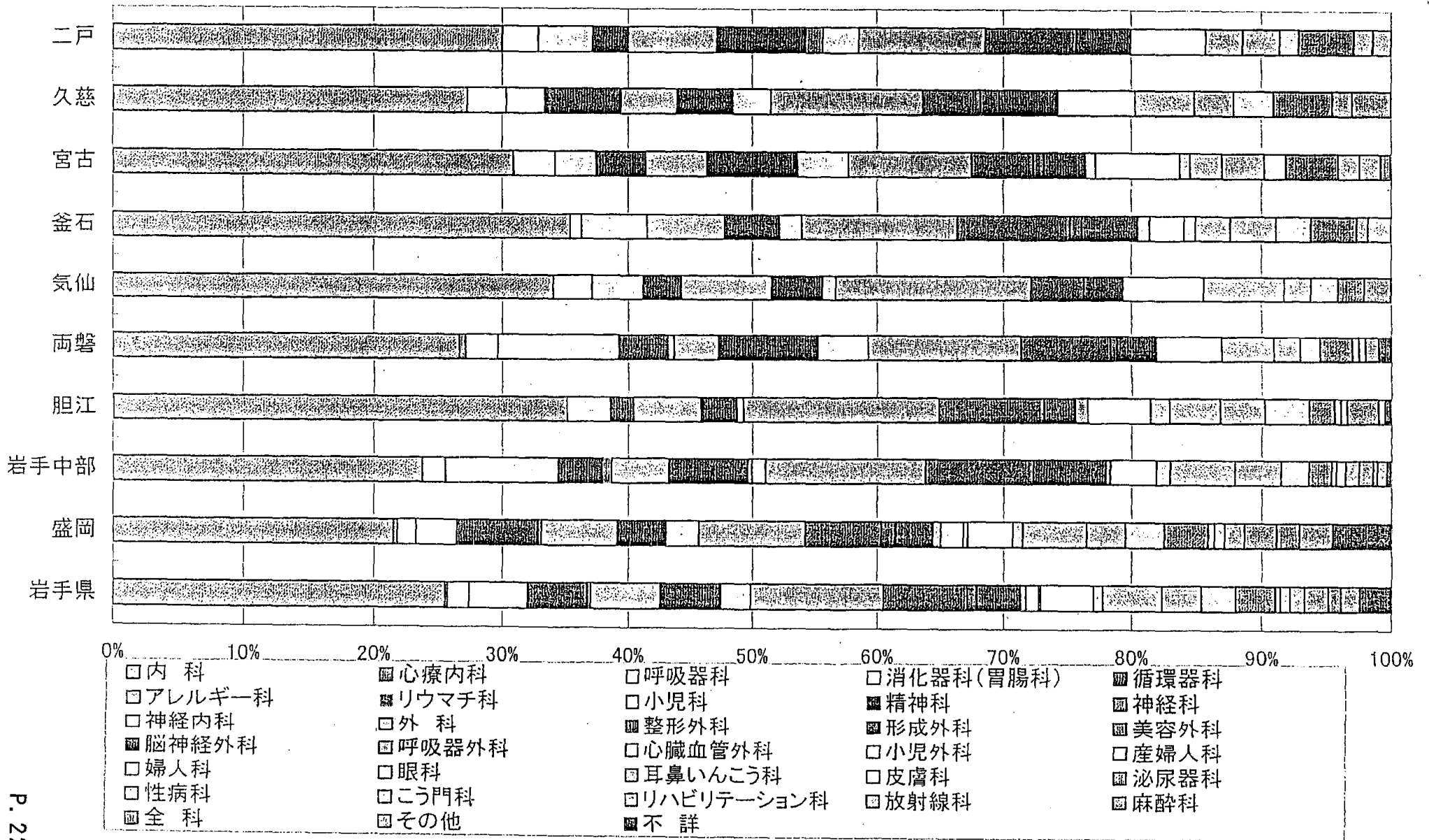
○ 二次医療圏別10万対医師数（平成14年度医師、歯科医師、薬剤師調査）

→ 県内の医師は盛岡医療圏に集中しており、偏在が見られる。

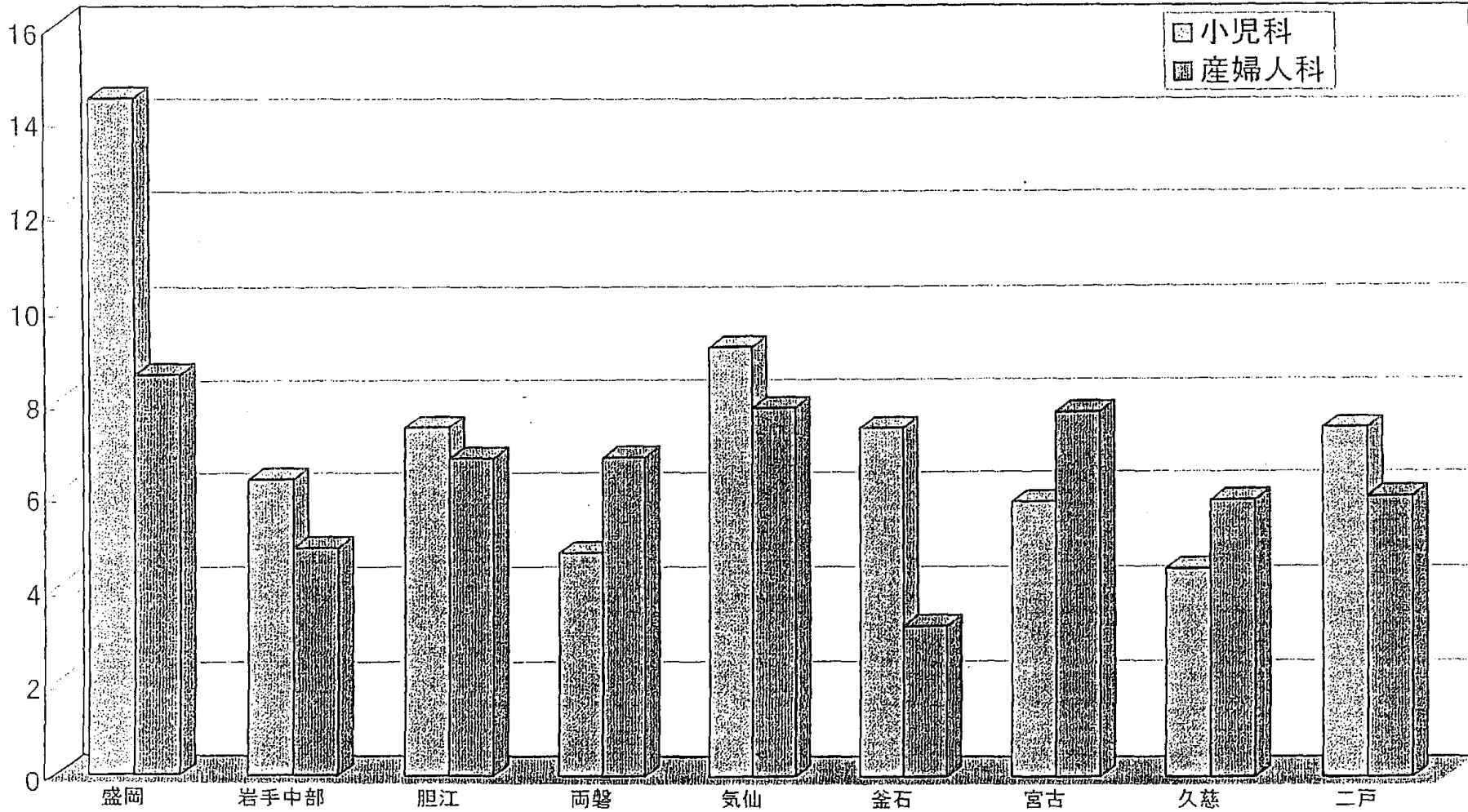
→ 特に県北、沿岸部で医師が少ない



○ 主たる診療科別・岩手県二次医療圏別医師分布（平成14年12月31日現在）
 →盛岡を除いた医療圏で特定の診療科（小児科、産婦人科、眼科、耳鼻科等）でばらつきがみられる



○ 二次医療圏別小児科・産婦人科医師数（人口10万対）（平成14年12月31日現在）
 → 両磐、久慈で小児科医師が、釜石で産婦人科医師が少ない



医療圏別人口10万人対医療施設従事医師数及び小児科、産婦人科、耳鼻科、眼科医師数
(14年度医師、歯科医師、薬剤師 調査より)

二戸医療圏			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	対県平均
医師数	75	110.7	-69.1
小児科	5	7.4	-2.1
産婦人科	4	5.9	-2.2
眼科	2	3.0	-4.8
耳鼻科	2	3.0	-2.1

久慈医療圏			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	対県平均
医師数	67	97.6	-82.2
小児科	3	4.4	-5.1
産婦人科	4	5.8	-2.3
眼科	3	4.4	-3.4
耳鼻科	2	2.9	-2.2

岩手県全体			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	全国平均
医師数	2457	174.6	206.1
小児科	130	9.2	11.4
産婦人科	97	6.9	8.7
眼科	106	7.5	9.8
耳鼻科	71	5.0	7.2

盛岡医療圏			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	対県平均
医師数	1249	254.0	74.2
小児科	71	14.4	4.9
産婦人科	42	8.5	0.4
眼科	59	12.0	4.2
耳鼻科	36	7.3	2.2

宮古医療圏			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	対県平均
医師数	128	123.5	-56.3
小児科	6	5.8	-3.7
産婦人科	8	7.7	-0.4
眼科	3	2.9	-4.9
耳鼻科	4	3.9	-1.2

岩手中部医療圏			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	対県平均
医師数	296	143.0	-36.8
小児科	13	6.3	-3.2
産婦人科	10	4.8	-3.3
眼科	14	6.8	-1.0
耳鼻科	10	4.8	-0.3

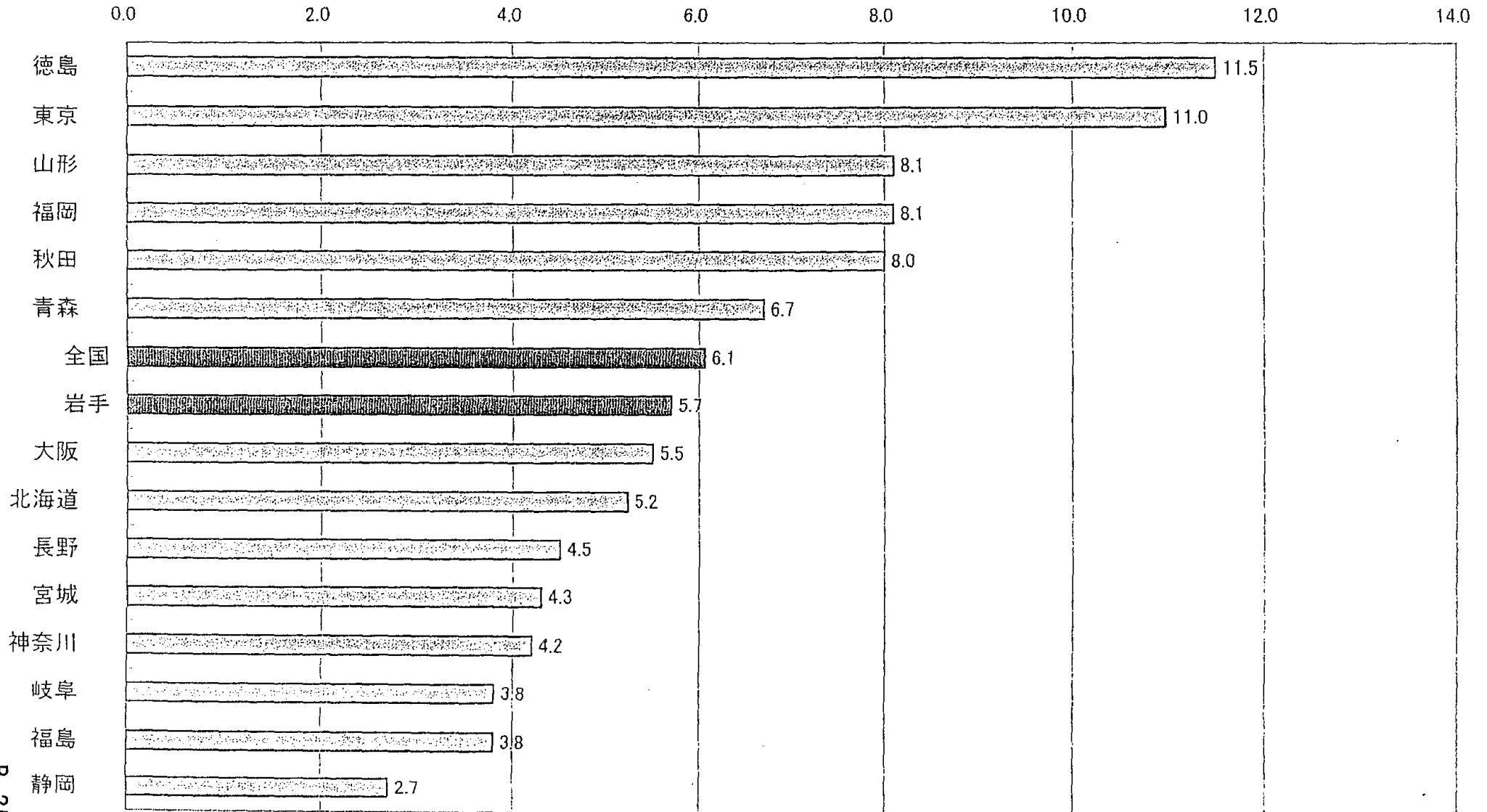
釜石医療圏			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	対県平均
医師数	116	122.2	-57.6
小児科	7	7.4	-2.1
産婦人科	3	3.2	-4.9
眼科	3	3.2	-4.6
耳鼻科	4	4.2	-0.9

胆江医療圏			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	対県平均
医師数	218	146.6	-33.2
小児科	11	7.4	-2.1
産婦人科	10	6.7	-1.4
眼科	8	5.4	-2.4
耳鼻科	7	4.7	-0.4

両磐医療圏			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	対県平均
医師数	205	138.3	-41.5
小児科	7	4.7	-4.8
産婦人科	10	6.7	-1.4
眼科	8	5.4	-2.4
耳鼻科	4	2.7	-2.4

気仙医療圏			
診療科	医師数	人口10万人 対医師数	対県平均
医師数	103	134.2	-45.6
小児科	7	9.1	-0.4
産婦人科	6	7.8	-0.3
眼科	6	7.8	0.0
耳鼻科	2	2.6	-2.5

○ 人口10万対医学部入学定員数
 (医学部定員：H15文部科学省「全国大学一覧」による。(2・3年次編入学定員含む)
 →全国平均をやや下回る程度だが、病床あたりや面積あたりの値は低い

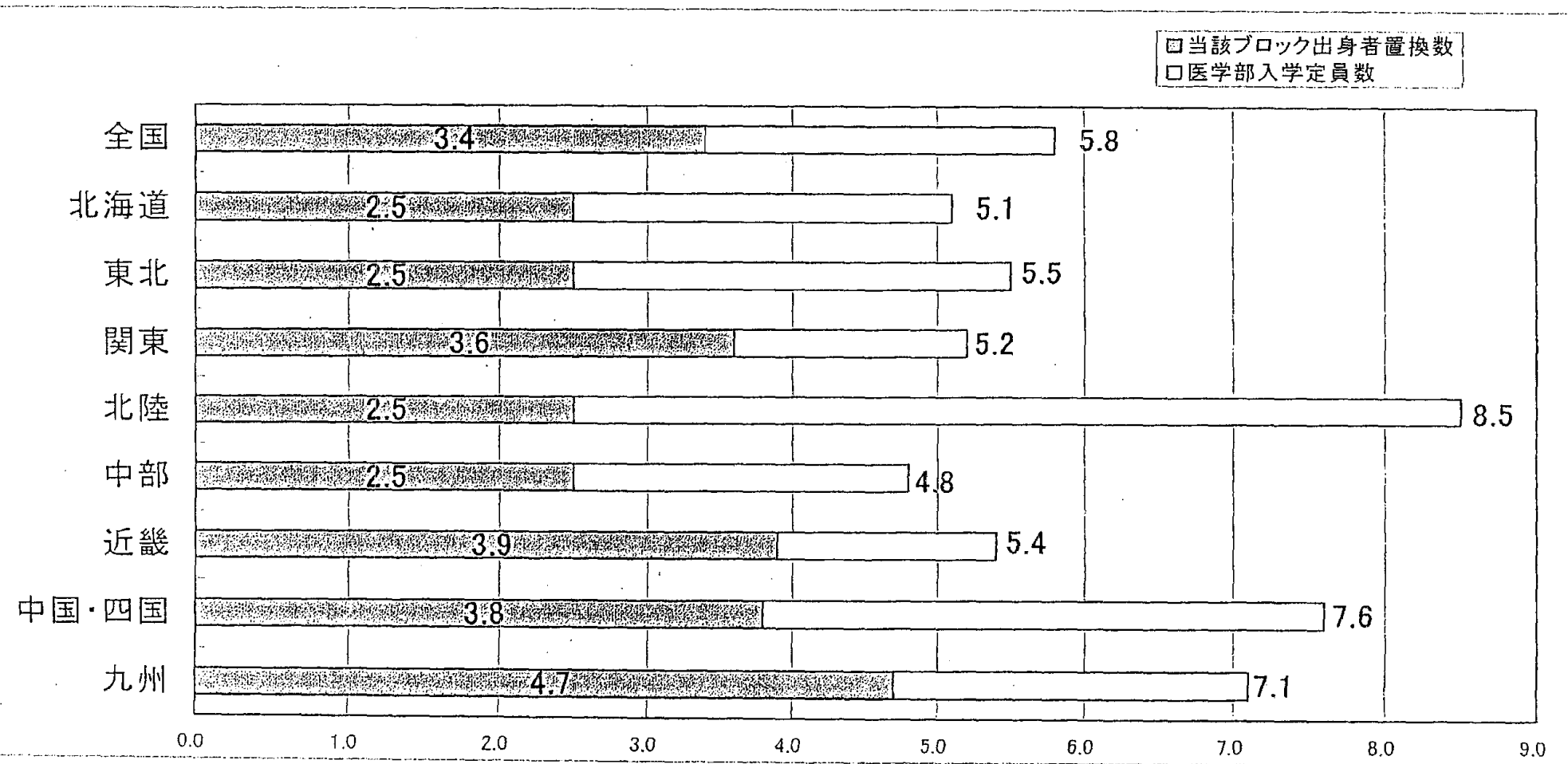


○ 国・公・私立大学人口10万人当たり医学部入学定員に対する当該ブロック内高校出身者置換数・割合

【全国自治体病院協議会作成資料】

→北海道、東北地域内出身者は、人口10万人当たり2.5人で全国平均の3.4人を大きく下回る

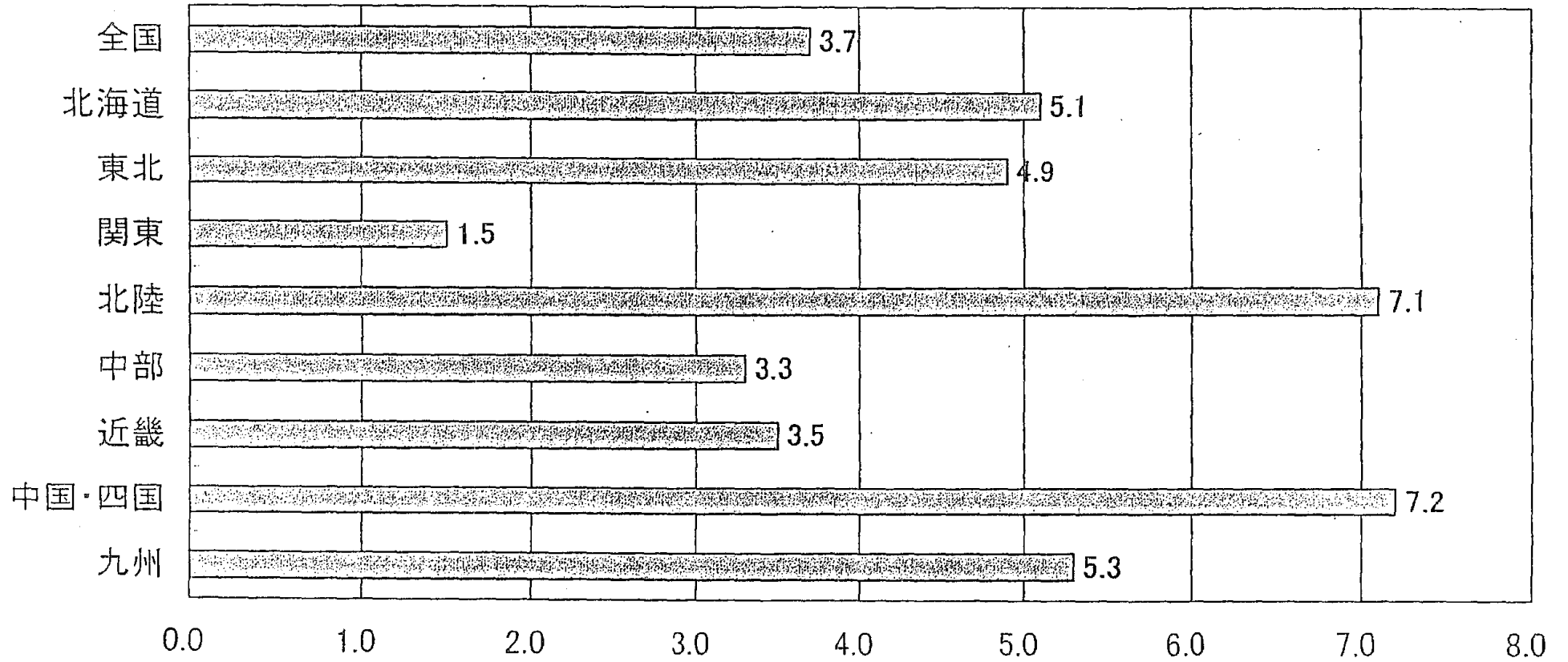
→全体として、西高東低の傾向



○ 人口10万人当たり国・公立大学医学部入学定員数

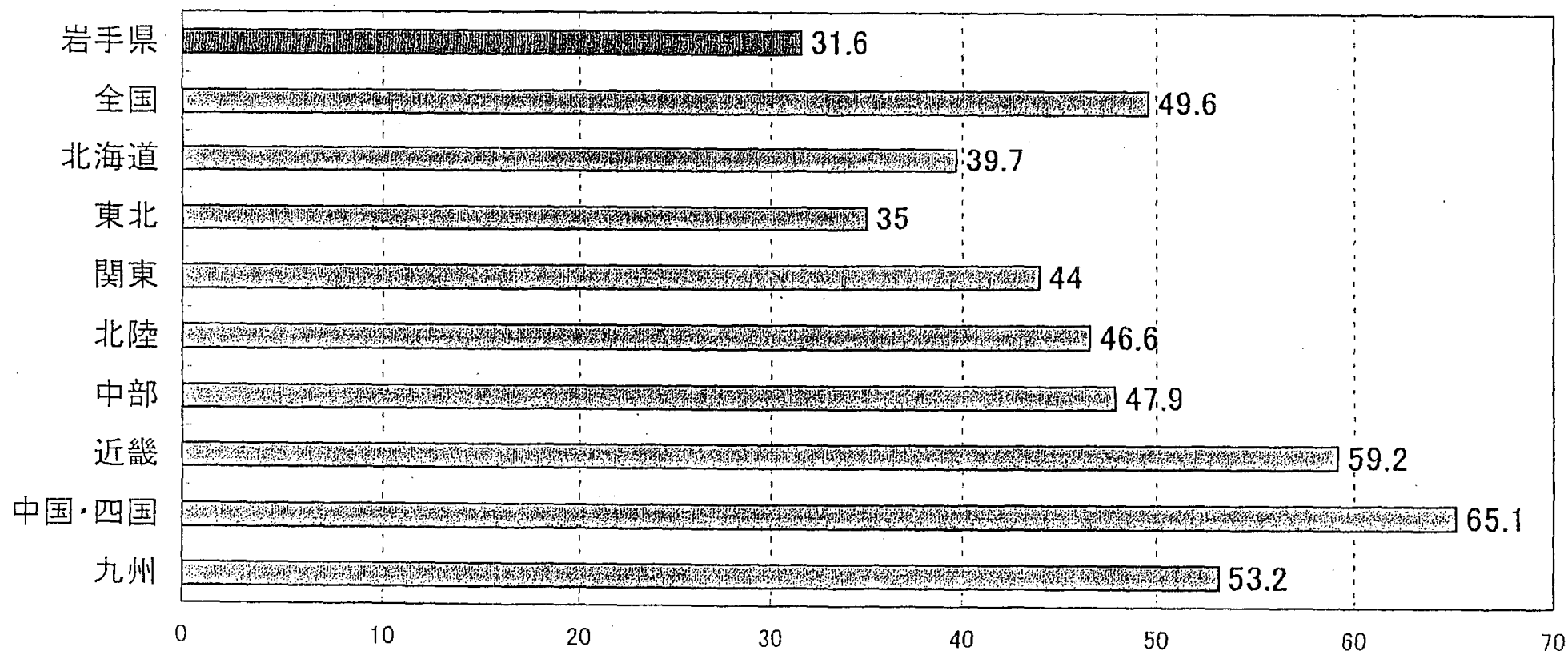
【全国自治体病院協議会作成資料】

→東京近郊の人口に対する国・公立大学医学部入学定員が著しく少ない＝私立大学を避ける者が、東北等他地域に多数流出していることが推測される（東北は東京近郊出身者の草刈場）



- 18歳人口1万人あたり医学部進学者数
→本県は東北平均を3.4人下回り、中国・四国地域の半数以下
→その原因としては様々な理由が考えられるが大きくは、①学力の差 ②経済的問題 が挙げられる

18歳人口1万人対医学部進学者数



○ 東北各県の医学部卒業後の進路

(岩手県学務課照会:H7~9年度の平均数、岩手医大はH11~12年度の平均数)

→県内への定着率は40%程度であり、東北各県も同様の傾向

=医師の少ない東北から医師の多い東京近郊等に流出していると考えられる

区分	入学定員	卒業生	大学院・入局者		県外転出者	
			(残留者)	割合		割合
東北大学	100	101	25	24.8%	48	47.5%
弘前大学	100	98	41	41.8%	48	49.0%
秋田大学	100	105	32	30.5%	50	47.6%
山形大学	100	101	41	40.6%	44	43.6%
福島医大	80	80	49	61.3%	26	32.5%
岩手医大	80	75	28	37.3%	30	40.0%

○ 北海道・東北地区 大学医学部自道県出身者数

→岩手医大の本県出身者比率は25%前後であり東北各県もほぼ同様の傾向

=卒業後の地元への定着率が低い要因の一つと考えられる

大学名	1年次 入学定員	自道県出身者数及び比率				備考
		15年度	比率	16年度	比率	
北海道大	95	29	30.5	29	30.5	
旭川医大	90	49	54.4	48	53.3	
札幌医大	100	61	61.0	81	81.0	20名の地元推薦枠あり
弘前大	80	25	31.3	23	28.8	
秋田大	95	24	25.3	23	24.2	
東北大	100	15	15.0	13	13.0	
山形大	100	21	21.0	24	24.0	
福島医大	80	33	41.3	31	38.8	16年度より5名の地元推薦枠あり
岩手医大	80	21	26.3	19	23.8	
平均等	820	278	34.0	291	35.3	